

松田町の『桃源郷』でゆったりと春を満喫しませんか？

最明寺史跡公園への無料送迎車を運行します

今年も、最明寺史跡公園の桜の見頃に合わせて、JR松田駅北口から、無料送迎車を運行します！さまざまな色合いの桜が楽しめる史跡公園へ、ぜひお花見にお出かけください。
4月10日（火）午前10時からは、最明寺例祭が行われます。



ぜひ皆さんで散策にお出かけください。

JR松田駅北口 出発 時刻表

1便	往路	午前9時発
	復路	「公園 午前11時発」
2便	往路	午前10時20分発
	復路	「公園 午後0時20分発」
3便	往路	午前11時40分発
	復路	「公園 午後1時40分発」
4便	往路	午後1時発
	復路	「公園 午後3時発」

運行日(次の5日間)

4月7日(土)、8日(日)、10日(火)、14日(土)、15日(日)

定員 平日9人/各便 土日13人/各便
ご予約 4月6日(金)正午までに電話でご予約ください。
往路と復路はセットです。往路と違う便には乗車できません。

【予約・問い合わせ】

観光経済課 公園係 ☎(83)1228

要事前申し込み

4月6日(金) 正午まで

4月からハーブ館が町直営になりました

松田山ハーブ館は町直営に移行し、西平畑公園園長代理には永山順一さん(仲町屋自治会)が就任しました。ハーブ館や子どもの館、自然館などの施設も含めた西平畑公園全体を管理運営し、PR活動も担っていきます。



園長代理の永山順一さん

【問い合わせ】 観光経済課 公園係 ☎(83)1228

《挑戦！まつだマイスター検定》

松田町では子育て支援に力を入れており、その中でも小児医療の助成については、足柄上郡においても一番の手厚さを誇っています。その小児医療費の助成について、いつまでが対象となるでしょうか(答えは次号)。

- ①高等学校卒業まで
- ②中学校卒業まで
- ③小学校卒業まで
- ④小学校入学まで

町観光協会が一般社団法人化

本紙3月号にてお知らせしましたとおり、昨年町観光協会は法人化に向けて討議を重ねてきました。3月17日(土)の臨時総会において審議した結果、4月2日(月)から、一般社団法人に移行することが決定しました。

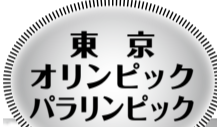
今後は観光振興の基幹組織として、地域経済の活性化や地域文化発展への貢献をはじめ、交流人口の増加および定住促進などにより、新しいスタイルの賑わいを創出します。

【問い合わせ】

町観光協会 ☎(85)3130

観光経済課 観光推進係 ☎(83)1228

大会公式マスコットの投票に松田小学校・寄小学校が参加しました!



候補を前に、「どれがいいかな?」とにぎやかに話し合う寄小学校の児童たち。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック協議大会組織委員会では、大会史上初となる、全国の小学生による「大会公式マスコット」投票を平成29年12月中旬から平成30年2月中旬にかけて行いました。

国内小学校と、海外の日本人学校を合わせた20万5755クラスが投票に参加し、大会組織委員会が選定した3案(ア・イ・ウ)の中からクラスごとに候補を選んで投票シートから投票しました。町からも松田小学校と寄小学校が参加し、ア案に12クラス、イ案に3クラス、ウ案に6クラスが投票しました。児童は投票を楽しみ、小学生がオリンピック・パラリンピックに直接参加できる貴重な機会となりました。

投票結果は2月28日(水)に発表され、ア案が公式マスコットに決定しました。

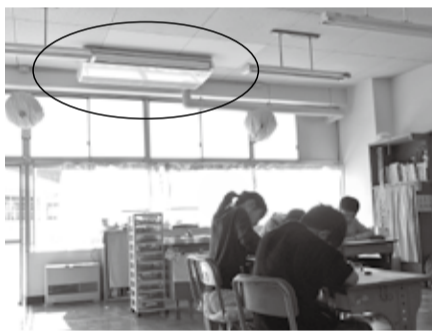
【問い合わせ】 教育課 学校教育係 ☎(83)7023

教育

寄小学校・松田中学校に新たにエアコンを設置

教育環境が向上しました

地球温暖化の影響を受けて近年町内においても真夏日の増加が著しく、「夏場は暑さで授業に集中できない」という声が生徒や保護者から上がっていました。



寄小学校の教室に新たに設置したエアコン

これを受けて町では、児童生徒の健康面への配慮と快適な教育環境の整備のために、国の補助金制度「学校施設環境改善交付金」を活用し、今年1月に寄小学校と松田中学校の普通教室などにエアコンを設置しました(寄小学校7台、松田中学校11台)。町では引き続き、学校施設設備の計画的な整備を進め、さらなる教育環境の充実に努めてまいります。

【問い合わせ】 教育課 施設管理係 ☎(83)7023

鼓動

松田町長 本山博幸

願い(未来との約束)

「想いと行動」

春暖の候、町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、進学や就職など4月から新生活を迎える学生や新社会人の方、誠におめでとうございます。

先月3月11日に、陸前高田市で執り行われた東日本大震災追悼式に参列させていただきました。松田町生まれの戸羽市長をはじめ、職員や関係者のご尽力により、まちの復興は着実に進んでいました。ただ、約1600名の方が亡くなられ、約200名の方が未だに行方不明という現実はあまりにも重く、目に見えない心の復興支援が今後必要であると感じました。松田町としても震災を風化させないよう、引き続きさまざまな支援に取り組んでまいります。

さて、自治体にはそれぞれ固有の課題や願いがありますが、私は「松田町が井の中の蛙であってはならず」という思いから、町外との交流による、時代に対応した町政運営に取り組んでまいりました。新しい経営感覚で知恵を出し合う事で消滅可能性都市から脱却し、持続可能な町政運営が出来ると考えています。そのためには本気で町を想い行動する人材が必要です。また、未来との約束とも言える願いを叶えるためには想いだけ、行動だけでは足りず、想いと行動が一つになった時に、初めて実現に近づくことができます。我々は、今春門出を迎える皆様の願いを叶えるためにも、安心して生活が出来る住環境を整えふるさと松田への郷土愛を育むべく、今年度も協働・連携協力を重視したまちづくりを推進しますので、今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。